

東京都事業の普及啓発の状況と課題について (R5,R6 の第 1 回相談支援研修会の参加者アンケートより)

東京都では二次保健医療圏を利用した、「専門的リハビリテーションの充実事業」と「区市町村支援促進事業」を高次脳機能障害の普及啓発として展開している。

令和 5 年、6 年の「第 1 回高次脳機能障害者相談支援研修会」の申込者に東京都の事業について調査した。

調査対象者（申込者）の内訳

	障害福祉分野	高齢福祉分野	医療分野	合計
令和 5 年	238	201	171	610
令和 6 年	254	204	148	606

	障害分野	高齢福祉分野	医療分野
令和 5 年と令和 6 年での重複者数	7	3	12

※令和 5 年と令和 6 年の重複者については、令和 6 年で削除した。

よって調査対象の数は以下となる

	障害福祉分野	高齢福祉分野	医療分野	合計
令和 5 年	238	201	171	610
令和 6 年	247	201	136	584

調査項目

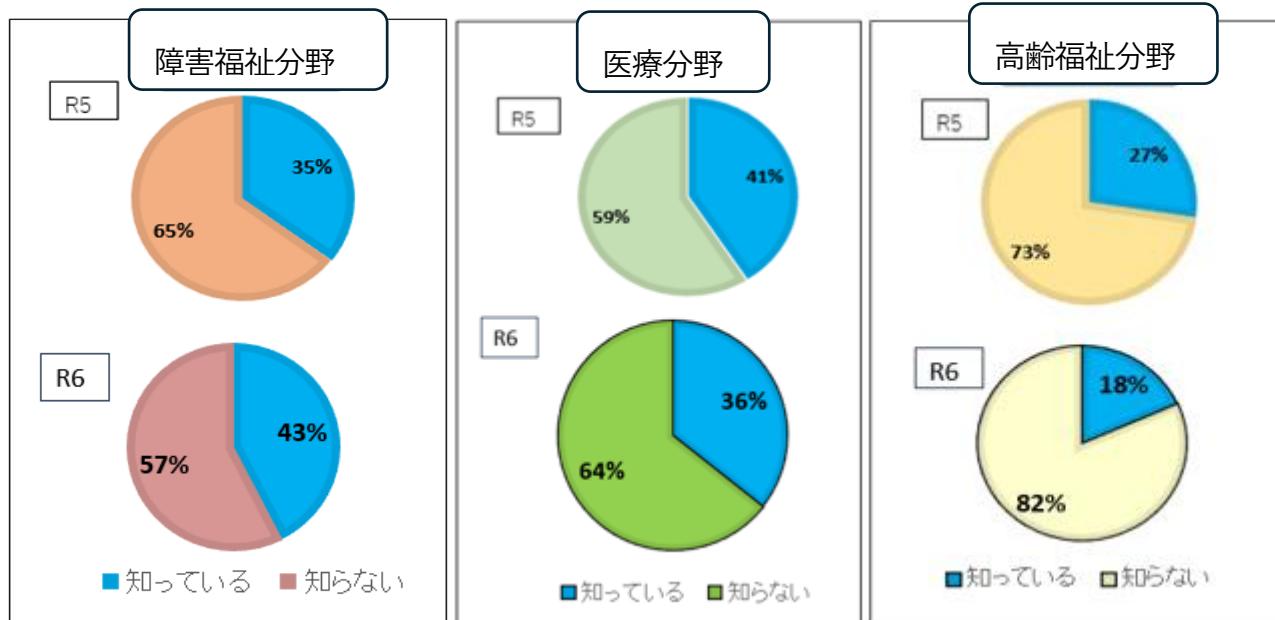
- 1 東京都が二次保健医療圏ごとに設置している高次脳機能障害に対応可能な拠点の病院を知っていますか？
- 2 二次保健医療圏の拠点の病院にコーディネーターが配置されていることは知っていますか？
- 3 二次保健医療圏の拠点の病院と連携をされたことはありますか？
- 4 二次保健医療圏の拠点病院以外に地域の中で高次脳機能障害への対応可能な病院を知っていますか？
- 5 高次脳機能障害のことを相談できる区市町村の窓口（支援員がいる窓口）を知っていますか？

今回は、1, 5 について報告する

調査結果より

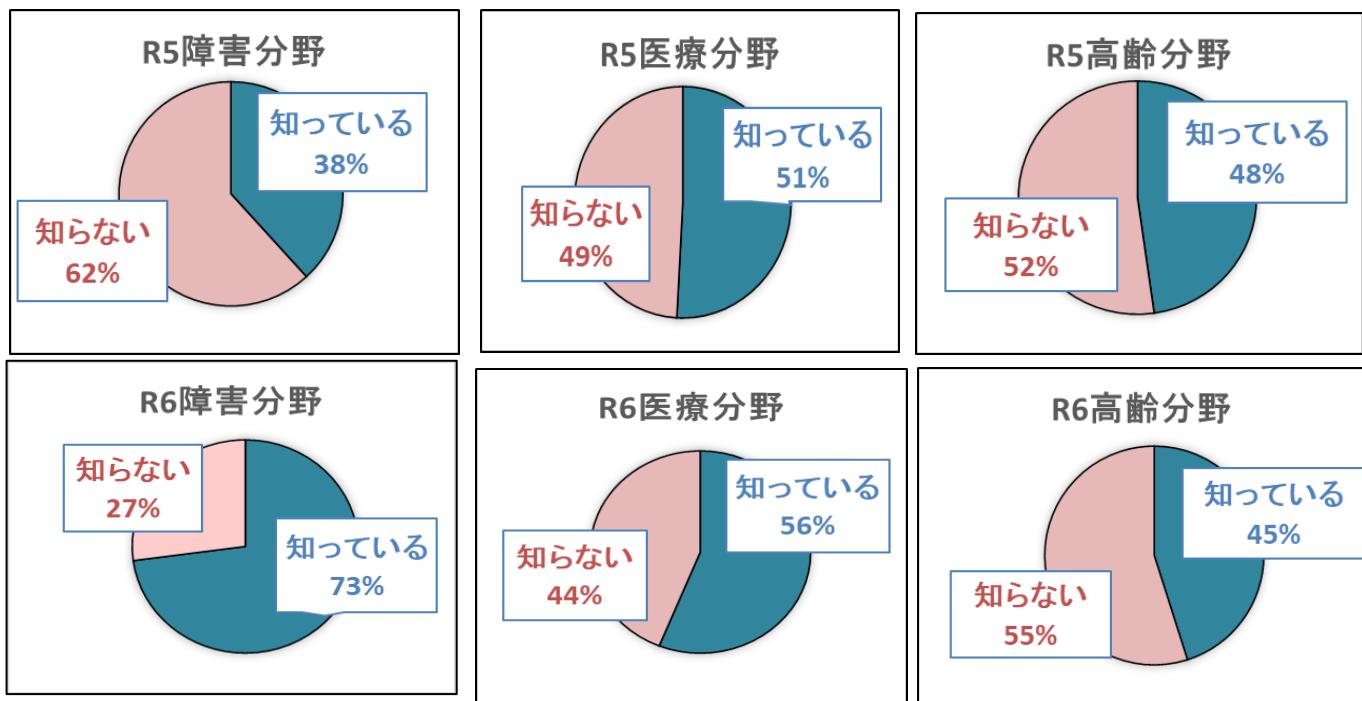
- 1 二次保健医療圏ごとに設置している拠点病院を知っていますか

(専門的リハビリテーションの充実事業)



○障害福祉分野と医療分野においては40%前後の方が知っていると回答があったが、高齢福祉分野は他の分野に比べるとかなり低くなっている。

5 高次脳機能障害のことを相談できる区市町村の窓口（支援員がいる窓口）を知っていますか



○障害分野と医療分野の認知度は、R5年よりもR6年のほうが上がっており、50%を超えているが、高齢分野の認知度は他の分野と比較して低く、50%に満たない状況である。

«課題»（御意見をいただきたい）

上記集計より、リハビリテーションの充実事業（拠点病院）については、特に高齢福祉分野への、普及啓発が障害分野や医療分野に比べて低いことがわかる。

各委員の皆様の取組等のから御意見をいただきたい。

- ① リハビリテーションの充実事業（拠点病院）を高齢分野に普及啓発し、連携するためにはどうしたらいいか
- ② 地域内での区市町村支援促進事業（支援員がいる窓口）を、さらに普及啓発し、地域内で連携するためにはどうしたらよいか。